

第 8 回「学際計算科学による新たな知の発見・統合・創出」シンポジウム

発展する計算科学と 次世代の計算機

平成 28 年 10 月 17 日 (月) - 18 日 (火)

筑波大学 大学会館 国際会議室

<http://www.ccs.tsukuba.ac.jp>

※ 事前登録をお願いいたします

10 月 17 日

(13:00 - 17:50)

大塚 孝治 (東京大学大学院理学系研究科)
「アボガドロ級計算で見えてきた原子核の未知の世界」

富井 健太郎 (産業技術総合研究所 ゲノム情報研究センター)
「新時代の計算生物学」

荒波 恒平 (気象庁予報部数値予報課)
「数値予報における超並列計算機利用の実際」

塙 敏博 (東京大学情報基盤センター)
「JCAHPC における新システム Oakforest-PACS~ 国内最高性能システムの実現に向けて ~」

朴 泰祐 (筑波大学計算科学研究センター)
「Pre-PACS-X: 計算科学研究センターの次期演算加速スパコンに向けて」

石川 裕 (理化学研究所 計算科学研究機構)
「ポスト「京」の開発状況」

梅村 雅之 (筑波大学計算科学研究センター)
「CCS におけるポスト「京」重点課題・萌芽的課題について」

10 月 18 日

(9:30 - 16:20)

森 正夫 (筑波大学計算科学研究センター)
「計算科学と天体物理学」

小野 倫也 (筑波大学計算科学研究センター)
「第一原理計算による表面界面の電子状態解析とデバイスの機能予測」

山崎 剛 (筑波大学数理物質系)
「格子 QCD を用いた原子核直接計算」

塩川 浩昭 (筑波大学計算科学研究センター)
「大規模グラフデータ分析入門」

計算科学研究センター「学際共同利用プログラム」

平成 27 年度成果報告会

平成 28 年度中間報告会